

東京23区が
見える。
わかる。

ワンツースリー

One23

Vol.20

2015
SPRING

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の季刊広報誌

特集

23区の図書館の特色を 紹介します

- クマなくさんぽ…23区の専門図書館
- 「東京港 きのう今日あした ～世界に誇る都市型総合港湾への飛翔～」
- 「23区の新しい観光コースを提案していただきました」
- 所蔵資料蔵出し…「二組の東京15区区分地図」
- これ、なんの数字??…70,325,131
- とくべつクマ特別調査 23区の^{ワンツースリー}1・2・3

Question

いちばん図書館の
貸出点数が多い区は?

答えは中面に!



City とくべつクマ®

図書館の特色を紹介します



みどりの中で読書! その名は「読書の森公園」

図書館を出ると、そこは公園。借りた本を、青空の下、楽しむことができる、みどりの空間です。



杉並区

京橋図書館 ～明治43年開館。今年105周年を迎える区立図書館です～

所蔵する写真・錦絵・絵葉書等の貴重な資料約2万点をデジタル化し、Web上でも公開しています。



中央区

池波正太郎記念文庫

上野・浅草を故郷とし、「鬼平犯科帳」を生んだ池波氏の書斎や原稿、絵画を展示しています。



台東区

コンシェルジュサービス

図書館の総合案内や利用サポートはもちろん、自ら取材した地域情報の紹介など、人と本をつなぐお手伝いをしています。



千代田区

豊島区立中央図書館

同一建物内の舞台芸術交流センター（通称、あうるすぽっと）と一体となった文化・情報の発信拠点です。



豊島区

足立の昔がたり ～直木賞作家 朱川湊人さん 監修により刊行～



地域の伝承40話を厳選して刊行。断家による読み語り音声データ付きの電子書籍版も足立区立図書館HPIにて公開中!

足立区

大橋ジャンクション、目黒天空庭園に隣接する 大橋図書館

春は目黒川の桜、夏は遠くに花火、秋は庭園の葡萄、冬は富士山。四季折々を10万冊の本とともに。



目黒区

墨田区ひきふね図書館パートナーズ ～区民と図書館の協働により利用者 目線に立ったサービスを実現～



墨田区

地域社会の発展に繋がる場・図書館で、本を通じた住民の交流や地域活性化を目的とした企画を年間60回程度、実施

ぬいぐるみのお泊まり会 篠崎子ども図書館ほか

ぬいぐるみが図書館を探検することで、こどもたちの創造力を育みます。この取組が絵本にもなりました。



江戸川区

北区立中央図書館 (赤レンガ図書館)

大正8年に建造された旧陸軍の工場赤レンガ棟を利用したレトロモダンな建築です。



北区

練馬区立南大泉図書館分室 「こどもと本のひろば」

0歳から小学校低学年までのこどもたちと保護者向けの図書館です。安心して読書や事業を楽しめます。



練馬区

いたばしポーロニャ子ども絵本館 ～世界の絵本を手にとって楽しんでください～



板橋区

ポーロニャ児童図書展事務局から寄贈された絵本を所蔵・展示・活用している世界の絵本館です。

個性づくりテーマ展示 ～各館における個性ある テーマ展示～

中野区

区立図書館全8館が、それぞれ異なったテーマに沿った企画展示を行い、関連図書を充実させています。



図書館、吉村昭記念文学館、 子ども施設を有機的に 結び付けた施設 「ゆいの森あらかわ」

図書館や絵本館を中心に、地域の文化・コミュニティの拠点となる施設として、平成29年春開設予定です。

荒川区



「子ども読書リーダー (子ども司書)講座」 ～子どもが主体となった 読書力の向上に向けて～

講座を修了した小学生たちは、おはなし会を開催するなど、学校や地域で本や図書館の楽しさを広めています。

世田谷区



こども図書館 約9万冊の本で調べ物 や学習に役立つ

こども図書館には、絵本、児童書、図鑑・事典、さらに中高生向けコーナーもあります。おはなし会も毎日開催。

新宿区



こどもたちの読書活動をサポート 「しゅやおすすめの本50」 と読書コンクール

毎年テーマを定め、年齢ごとに推薦図書を選定し、感想画や本の帯などのコンクールを実施しています。

渋谷区



あの村岡花子も文士の一人 「馬込文士村資料室」

馬込図書館では明治から昭和にかけて旧馬込村に住んだ、多くの文士に関する資料を展示しています。

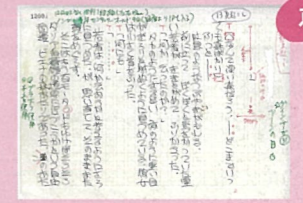
大田区



かつしかデジタル ライブラリー

葛飾ゆかりの作家の自筆原稿や地域の貴重資料をデジタル化し、図書館ホームページ内で公開しています。

葛飾区



子育て支援施設と同居! 外国語資料も充実! 港区立麻布図書館

子育て支援施設と連携した幼児向けイベントが人気。地域特性を踏まえた7言語・約4,100冊の充実した外国語資料も自慢です。

港区



深川図書館 ～100年の歴史と伝統を 感じる洋風建築～

明治42年開館。当時のイメージを受け継ぐ外観とともに、吹き抜けのらせん階段やステンドグラスが目を引きま。

江東区



品川図書館 ～南品川宿の民間団体 「六行会」が開設～

大正12年に地域の人々により設立された「荏川町文庫」が前身の歴史ある図書館です。

品川区



視聴覚資料が充実! ～今では珍しい懐かしの レコードを多数所蔵～

区立図書館全館でCDを約124,000点、さらに小石川図書館は約20,000点のレコードを所蔵しています。

文京区



普段とは違う視点から見た23区、知ればもっと面白い!

クマなくさんぽ



23区の専門図書館

＊食の文化ライブラリー (港区)

このOne23を発行している特別区自治情報・交流センターは、専門図書館と首都大学東京の飯田橋キャンパスで構成されています。特別区自治情報・交流センターの専門図書館には、特別区に関する様々な行政資料や関連する図書等を所蔵しています。

専門図書館とはあまり接点がないという方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、自分たちの生活に密接な関係がある専門図書館で、公益財団法人味の素の文化センターが運営する「食の文化ライブラリー」を訪ねてみました。



味の素グループ高輪研修センター
(食の文化ライブラリーは1F)

●食の文化ライブラリーとは

公益財団法人味の素の文化センターが収集してきた食文化やその周辺分野の書籍、雑誌等を所蔵しており、1989年に開館しました。主に食に関する仕事、研究に携わる人を中心に、1日に20人程度の来館があります。所蔵資料のすべてが食に関するものとなっており、配架にも工夫がされています。また、検索端末も設置しており、目的の資料が探しやすくなっています。



館内の様子

●利用してみよう

実際に館内を回ってみると、書籍や雑誌だけでなく、映像資料等も配架されています。館内を奥へ進むと、明治時代から戦前にかけての貴重書が配架されており、当時の食べ歩き本やレシピ本、雑誌などを見ることが出来ます。なお、貴重書の閲覧にはカウンターで申請が必要です。



昭和初期に発行された食べ歩き本。銀座や神楽坂などエリア別にお店を紹介しています。

また、食品会社の社史など、他の図書館では見ることのできない資料などもあり、就職活動のために調べに来る方もいるそうです。

●利用方法

当館に着いたら、受付で利用者票を記入します。その後、ロッカーにかばんやコート類などを預けたら館内に入ることができます。なお、パソコン等を持ち込みたい場合は、ロッカー横にある透明の手提げ袋に入れて館内へお持ちください。配架されている資料は自由に閲覧することができ、貸出しも行っています。貸出しを利用する場合は、利用カードの登録(手数料100円)が必要になります。



約250年の歴史を持つパリの老舗レストラン“Le Grand Véfour”の総料理長である“Guy Martin”のレシピブック。全636ページ約7kgでフランス語、英語、日本語に対応しています。右側に見えるのは、Christofle社製の「銀の箸:UNI」

食の文化ライブラリー

- 住所: 港区高輪3-13-65
味の素グループ高輪研修センター内
- アクセス: 都営浅草線「高輪台」徒歩3分
JR山手線「品川」「五反田」徒歩15分
- 開館時間: 10:00～17:00
- 休館日: 日・祝日、年末年始、図書整理期間



もっと活用しよう!

特別区自治情報・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは?

特別区(東京23区)を中心とする自治に関する資料を収集しており、蔵書数は約8万冊。特別区や行政について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。



みんなとせやろよ

東京港紹介展示

東京港 きのう今日あした ～世界に誇る都市型総合港湾への飛翔～

東京港は、国際貿易港として首都圏約4,000万人の生活と産業に欠くことのできない生命線の役割を担っています。今日では外貨コンテナ取扱個数日本一を誇る東京港ですが、歴史を紐解いていくと様々な困難に直面しながらも、多くの人々の力によって課題を克服し、成長を遂げてきたことがわかります。



提供:東京都港湾局

このたびの展示では東京港の歴史とともに、現在の東京港が果たしている役割、そして今後、東京港がどのような発展を目指していくのかを、パネル、船舶の模型、PR動画等を通じてお伝えします。また、東京港の歴史は、埋め立ての歴史でもあります。今日広く親しまれるようになった臨海副都心についてもご紹介します。

展示スケジュール

- 開催日: 平成27年4月28日(火)～5月20日(水) (日曜日・祝日を除く)
- 展示時間: 平日 9:00～20:30 土曜日 9:00～17:00
- 会場: 東京区政会館 1階エントランスホール (千代田区飯田橋3-5-1)

みんなとせしたよ



首都大学東京の 学生の皆さんから

23区の新しい観光コースを提案していただきました

多くの方に様々な23区の姿を知っていただくため、隠れている23区の魅力を発見し、体験ができる観光コースの研究開発を首都大学東京にお願いしてきました。平成27年2月13日、都内区市町村職員に向けての平成26年度研究成果の発表会が東京区政会館で開かれ、学生の皆さんから様々な観光コースの提案をいただきました。



プレゼンテーションの様子



ポスターセッションの様子

提案されたコースのひとつ、江戸野菜をキーワードとした観光コースでは、墨田区、江東区、江戸川区、中央区を巡るなかで江戸野菜の歴史を学び、その栽培されている畑を観察し、それを実際に味わうコースが組まれており、江戸の伝統野菜を通じて23区を知ることができるものになっています。

このほか、外国人が観光地化されていない下町を楽しむプラン、家族の「会話のネタ」を提供するまち歩き、なにげない風景からユニークな写真を撮影できるスポットなど、いずれも興味をそそるコース提案がありました。

この発表会に出席された区市町村の職員からは、「完成度が高くびっくりしました。少し手を加えればすぐにでも実現できそうな提案でした。」などといった感想をいただきました。

【研究成果の公表】

研究成果については、特別区協議会のホームページをご覧ください。今回の発表内容は、平成27年4月中旬掲載の予定です。

HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/joint/houkoku.html>



提案資料の一部

所蔵資料 蔵出し



みんなものがあるよ

特別区に関する資料から読み解いてみよう!

二組の東京15区区分地図

東京15区は、明治11(1878)年11月2日に置かれ、昭和7(1932)年10月1日に35区になるまで続きます。今回紹介する地図は15区時代に作られた、次の二組の地図です。

- 東京郵便電信局が調査した『東京市15区区分全図』
〔地図1、15枚組、明治28(1895)～31(1898)年初版発行、再版等あり、以下「28年図」と表記〕
 - 東京通信局が編纂した『東京市15区番地界入区分図』
〔地図2、15枚組、明治44(1911)年初版発行、大正期に再版等あり、以下「44年図」と表記〕
- 二組の地図は、十数年の時を隔てて発行されました。東京15区が十数年間で、どのように変貌したのかを見てみましょう。



●地図1「麹町区全図」(明治28年)



●地図2「番地界入麹町区図」(明治44年)



◆地図3「本所区全図」両国付近



◆地図4「番地界入本所区図」両国付近



◆地図5「芝区全図」新橋付近



◆地図6「番地界入芝区図」新橋付近

◆違い、その1「道路」「橋」

「28年図」(地図3)を見ると、江戸期の名残が見受けられます。両国橋付近では、道路は直線的でなく、街中や橋のたもとには広小路(火除地)が残っています。

「44年図」(地図4)では、両国橋が架け替えにより架橋位置が変わり、道路(現在の京葉道路)と直線的につながり、広小路も無くなっています。

◆違い、その2「鉄道」「路面電車」

「28年図」(地図5)には、明治5(1872)年に開業した新橋停車場が載っています。

「44年図」(地図6)では、東京駅に延びる路線ができ、その路線上に二代目新橋駅(旧名、烏森駅)が見られ、新橋停車場は汐留駅になっています。また、地図4でも確認できる路面電車が本図でも確認でき、その敷設が広範囲にわたっていることがわかります。

■今回紹介した地図は、特別区自治情報・交流センターホームページで公開しています。

HP <http://www.research.tokyo-23city.or.jp/index.html>

これ、なんの 数字??

特別区に関するトピックを数字から読み解いてみよう!

70,325,131

●特別区における区立図書館数、蔵書数、貸出数、人口の推移
(単位:館、冊、人)

年	図書館数	蔵書数	貸出数	人口
昭和48(1973)年	77	3,374,732	6,855,191	8,724,383
昭和58(1983)年	129	10,193,358	27,315,164	8,181,242
平成5(1993)年	189	17,188,872	36,556,806	7,969,439
平成15(2003)年	223	23,688,888	50,114,581	8,081,959
平成25(2013)年	238	27,148,966	70,325,131	8,951,575

※注意:蔵書数、貸出数には視聴覚資料を含まない。
※出典:「特別概要(昭和48年版)」「第3回特別の統計(昭和58年版)」「第13回特別の統計(平成5年版)」「第23回特別の統計(平成15年版)」「第33回特別の統計(平成25年版)」

この数字は、平成25(2013)年の特別区における区立図書館全体の図書館の貸出数です。

昭和48(1973)年、図書館は23区全体で77館、蔵書数は3,374,732冊でしたが、40年間で、図書館数が約3倍(238館)、蔵書数が約8倍(27,148,966冊)に整備されました。

貸出数は、昭和48年に6,855,191冊で、数字のうえでは、1年間に1冊の図書も借りていない区民がいる状況でしたが、平成25年には70,325,131冊で約10倍に増え、区民一人あたりが1年間に約8冊借りていることとなります。読書量は確実に増えているのではないのでしょうか。

一般に「活字離れ」と言われていますが、この貸出数を見る限り「活字離れ」という言葉は当てはまらないかもしれませんね。

最近の図書館って
楽しいよ!



ボクが調べたよ 区立図書館ランキング

最近、図書館が変わってきたという話を聞いたんだ。本の貸出だけでなく、調べものを手伝ってくれたり、映画会・ミニコンサートやワークショップ、展示会があったり、中には、ホールやカフェのある図書館もあって、利用の幅が広がっているんだって。そこで、今回は、図書館について調べてみたよ!

いちばん図書館の貸出点数が多い区は?

1位 練馬区 6,152,346点 **2位 世田谷区 6,015,610点** **3位 江戸川区 5,762,267点**

平成26年度東京都公立図書館調査(総括表)データ

図書館について調べていたら、23区内で一番図書館の貸出点数が多かったのは、練馬区だったよ。図書館来館者数や予約受付数も23区の中で一番多かったから、何か特別なことをしているのかな。練馬区の図書館に行ってきたよ!

練馬区立光が丘図書館

図書館を地域の情報拠点に

練馬区の中央図書館としての役割を担っているのが「光が丘図書館」です。都営大江戸線「光が丘駅」から歩いて約7分、緑豊かな光が丘公園の中にあり、その環境と立ち寄りやすさから週末はもとより、平日も午前の早い時間から利用者が訪れています。

光が丘図書館長の加藤信良さんは、「図書館としては大きい方ではないし、蔵書が多いわけでもありません。他区の図書館と特に違うことをしているわけではないですが」と前置きした上で、「練馬区では、図書館以外にも本の受取窓口を増やして本の貸出の

便宜を図ったり、様々な行事を企画して図書館を利用していただいたり、小学校低学年までを対象とした「こどもと本のひろば」を開設して、小さなお子さんやお母さん方にも利用しやすくするなど、図書館が、本を介した地域の情報拠点としての役割を担うサービスを提供しています。こうした取り組みが図書館の来館者数を増やしている原因だと思います。」と、貸出点数が多い理由を語ってくれました。つまり、図書館に人を多く集めることが、本の貸出数を増やすことにもつながっています。



練馬区立図書館報



高野台受取窓口



どうして本の貸出数が多いの?



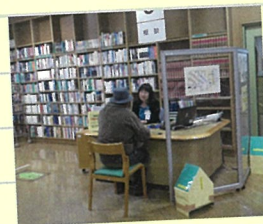
吹き抜け、天井採光でいつも明るい館内

でも、図書館で本を選ぶのってたいへん。

探してる本のこと、専門の相談員が調べてくれます。

「探している本が見つからなかったら、私たちに、相談してください」というのは、光が丘図書館事業統括係長の佐藤一久さん。館内には、レファレンスコーナーといって、本に関することなら、何でも相談にのってくれる専門の窓口があります。「2階の児童書コーナーには、こども専用の相談カウンターがあって、こどもたちからの質問に対応しています。また本の相談はホームページでも受け付けていますから、気軽に相談してください。」と紹介してくれました。

図書館って本を借りるばかりじゃないんだということがよくわかったよ。帰って友達にも教えてあげよう!



ただいま相談中(レファレンスコーナー)

光が丘図書館は、開館20周年

光が丘図書館は、平成7年2月22日に開館して、今年で20周年を迎えたんだって。20周年を記念して、江戸東京博物館館長による講演会や南米楽器のコンサート、絵本の読み聞かせ会や布の絵本(触る絵本)展示、光が丘の歴史展示etc...をやったんだって。すごく面白そうだったよ。講演会やコンサートでは、キャンセル待ちが出るほど賑わっていたみたいだよ。図書館が情報拠点の一つとして、しっかり地域に根付いているんだね。

光が丘図書館は20歳なんだって、オメデトウ!



光が丘図書館外観
大きな窓からは公園の景色が見渡せる

特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターでは、様々な講座や企画を開催しています。是非ご参加ください。

※講座や企画の詳細はHPをご覧ください

東京区政会館1階展示スペース

区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。

どなたでも自由にご覧いただけます。

開場時間 平日：9:00～20:30 土曜日：9:00～17:00 日祝：休館

HP <http://www.tokyo-23city.or.jp/>

東京港紹介展示 「東京港 きのう今日あした ～世界に誇る都市型総合港湾への飛翔～」	主催 東京都港湾局 (公財)特別区協議会 日時 平成27年4月28日(火) ～5月20日(水)
特別区自治情報・交流センター10周年記念事業 「北陸新幹線がやってきた(仮称)」 第1部 [石川県金沢市・板橋区紹介展示]	主催 石川県金沢市・板橋区 (公財)特別区協議会 日時 平成27年6月2日(火) ～6月29日(月)(予定)
「北陸新幹線がやってきた(仮称)」 第2部 [富山県・富山県高岡市・荒川区 紹介展示]	主催 富山県・富山県高岡市・荒川区 (公財)特別区協議会 日時 平成27年7月10日(金) ～8月6日(木)(予定)

「東京23区のわくぐみ -法令から読み解く制度の特例-」の発行

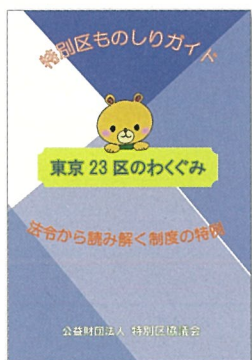
特別区ものしりガイド「東京23区のわくぐみ」-法令から読み解く制度の特例-

平成27年4月発行(無料)

当協議会では、特別区のことを知り、理解を深めていただくために、冊子を発行しています。

今回は、特別区ものしりガイドとして、法律から特別区制度の特徴を読み解くことをねらいに、地方自治法を中心に特別区に関連する法令等を参照できるよう取りまとめました。編集に際しては、特別区に関する地方自治法の条文をじっくり読んでいただくための工夫をしています。

なお、姉妹編の「東京23区のしくみ」や関連する小冊子「東京23区のおいたち」「東京23区のふしぎ」も併せてご利用ください。



特別区自治 情報・交流センター

開館時間：(4階) 9:30～20:30 (土曜日は9:30～17:00)
休館日：日曜日、祝日、年末年始等

東京メトロ東西線「飯田橋駅」A5出口すぐ
東京メトロ有楽町線・南北線・都営地下鉄大江戸線
「飯田橋駅」A2出口徒歩2分
JR中央・総武線「飯田橋駅」東口徒歩5分
千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館

One23に掲載されている各種資料等の情報はコチラ
<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>

